

## 韓国、竹島周辺の日本EEZ内に「産廃投棄区域」設定 5年前に撤廃されたはずが…

竹島（島根県隠岐の島町）周辺海域の日本の排他的経済水域（EEZ）内に、韓国の「産業廃棄物投棄区域」が設定されていたことが10日、分かった。韓国政府が今年6月に発行した海図を調査した超党派の「日本の領土を守るため行動する議員連盟」（会長・新藤義孝元総務相）が確認した。安倍晋三首相は同日、官邸で面会した新藤氏らが韓国政府への抗議と区域を撤廃させるよう求めたのに対し、「即刻対処しよう」との意向を伝えた。

外務省や海上保安庁によると、韓国の産廃投棄区域は昭和53年に設定され、日韓両政府の協議で平成22年に南西沖の日本側EEZ内と重なった部分は撤廃された。だが、今月3日に新藤氏らが海保を視察した際に韓国の海図を確認したところ、竹島の北北東沖のEEZ内にも区域が設定されていたことが判明した。

菅義偉官房長官は10日の記者会見で新藤氏の要請について「政府としても、しっかり受け止めて対応していくのは当然だ」と述べた。新藤氏らの指摘を受けた外務省は韓国側に事実関係を照会し、外交ルートを通じて抗議した上で区域の即時撤廃を求めた。